



春の星座を探してみよう

Vol.1



春の星座を探すときには、明るい星3つで作る三角形をまず探してください。

4月末、夜20時ごろの場合、南東の方角にあります。
一等星2つと二等星1つで作る三角形は「春の大三角」と言います。
春の大三角の一等星のうち、白い方が「スピカ」、
オレンジ色っぽい方が「アークトゥルス」、
二等星は「デネボラ」とそれぞれ名前があります。

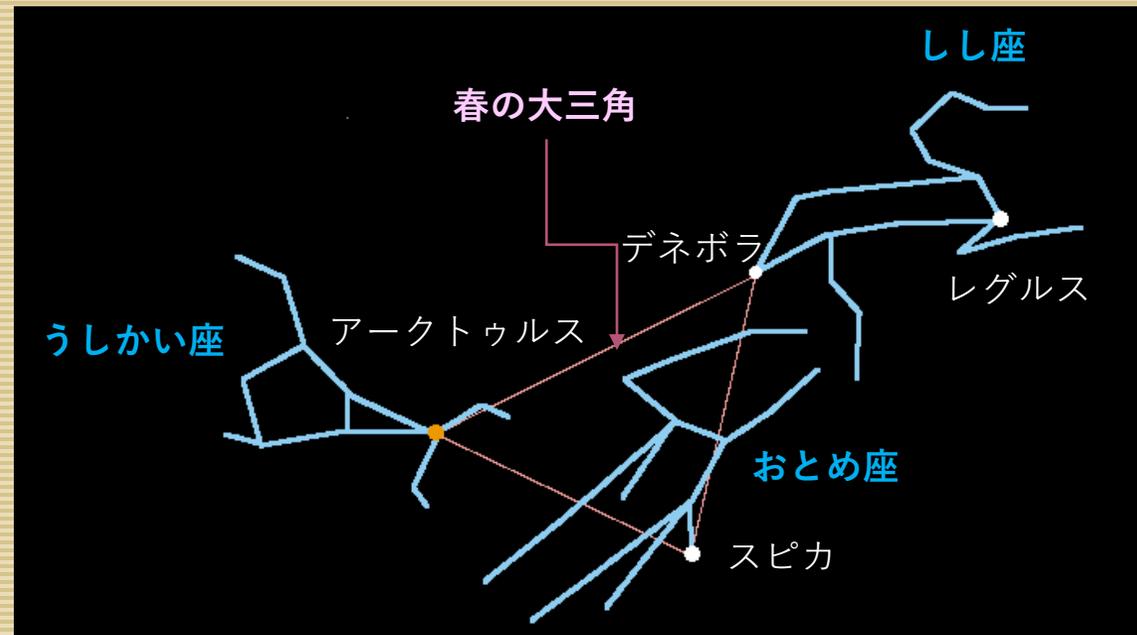
スピカは誕生日の星座の一つ、「おとめ座」の星です。
白く美しい様子から「真珠星」と別名がついています。
おとめ座は全88星座のうち、2番目に大きな星座ですが、
明るい星はスピカだけなので、八王子でたどることは難しいです。

アークトゥルスにも別名があり、「麦星(むぎぼし)」と言います。
色合いや、麦の刈り入れの季節に南中することからそう呼ばれます。
アークトゥルスは「うしかい座」を形作る星です。
アークトゥルスから太めのネクタイのような形をたどってみてください。

スピカとアークトゥルスは色の対比や、ほぼ同じ時刻に上ってくることから
「春の夫婦星(はるのめおとぼし)」と呼ばれます。

そして、デネボラには「獅子(しし)の尾」という意味があります。
デネボラより南に一等星があります。「レグルス」と言います。
レグルスの意味は「獅子の心臓」。どちらの意味からもわかる通り、
デネボラとレグルスは誕生日の星座の一つ「しし座」を形作っています。
しし座はわかりやすい星の並びをしています。
図を頼りに実際の空で探してみてください。

一等星や春の大三角は町明かりのある八王子でも簡単に探せます。
おうちの窓やベランダから探してみてください。



東

南

4月30日夜20時ごろ

春の星座を探してみよう

Vol.1

おとめ座

おとめ座は誕生日の星座の一つです。二人の女神さまが星座になったものだと言われています。右手の羽ペンには正義の女神アストレイアを表し、左手の麦の穂は農業と収穫の女神デーメーテルを表していると言います。麦の穂が描かれた場所で光るのは一等星のスピカ。スピカはそのまま「麦の穂」という意味があります。語源は「とがったもの」。実は靴のスパイクなども同じ語源から来ています。

うしかい座

うしかい座はこん棒を持った勇ましい姿から、よく冬の星座オリオン座と間違えられてしまうことがありますが、全く別の星座です。ギリシア神話に登場する巨人アトラス神を描いたとされる星座で、アトラスは全宇宙をその肩に担いでいると言われています。有名な「アトラスオオカブト」や「アトラス山脈」などはこのアトラスから来ています。

しし座

しし座は誕生日の星座の一つです。ネメアの森に棲(す)む人喰い(ひとくい)ライオンがモデルと言われています。ギリシア神話に登場する英雄ヘルクレスが十二の冒険を成功させた際、最初の冒険となったのがこのライオン退治でした。鋼の身体を持ち、弓も剣も歯が立たず、3日間、首を締めあげてようやく退治することができたそうです。また、しし座の頭部あたりから毎年11月中旬、「しし座流星群」が見られます。33年に一度大出現することでよく知られていて、最近だと2001年に1時間に数千個の流星雨が見られました。



星座イラスト@藤依ひな